

# Fujitsu マルチAIエンジン



エリア防犯や施設監視で設置される監視カメラやセンサから取得できるデータは年々増加しており、昨今必要とされるリモートワークの観点からも、効率的な映像・データの監視・解析が求められています。

マルチAIエンジンは、AI技術を用いて行動検知や動体検知、属性検知、物体検知、スタック危険度予測、緊急車両などの移動配備シミュレーションといった機能を提供するソフトウェアです。複数のAIエンジンからお客様の具体的な目的や用途に最適なものを選択し、自由に組み合わせて使用できます。

これにより、お客様の業務や課題に合わせた効率化を実現します。



## マルチAIエンジンの特長

1

### AIにより特定の行動を検知し、人物属性を検出

予め学習済みの約100種類の基本動作を組み合わせ、追加学習なく行動を検知。また、検知した人物の年齢等の属性や、顔・全身特徴を検知し、人物搜索を支援。

2

### 動体検知で漏れなく動きのあるシーンを検知

ゲート等の開閉や物体の変化など、動きのあるシーンを映像から検知。状況の変化を発見でき、異常時の早期対応を支援。

3

### 車両検知で事故発生時などの追跡を支援

検知した車両の車種（セダン、バン、トラック、バス等）や車名（各メーカーが考案した独自の名称）、年式を検知。また、車番を認識し、事故発生時などの車両の追跡を支援。

4

### 複数のAIエンジンを組み合わせ 日常業務も支援

複数のAIエンジンの検知結果を組み合わせることも可能。例えば、車両検知と人物検知を組み合わせ、バスやタクシーの乗降者数カウントを実現し、日常管理業務を支援。

5

### 過去のデータから特定事象の発生しやすさを予測

気象データなどをもとにスタック危険度の予測結果を提供し、外部ソフトウェアがヒートマップなどの形式で可視化。また、蓄積された過去のデータに対して緊急車両などの移動配備シミュレーションを可視化。

## 主な機能

### 動体検知

- 映像データのフレーム間情報を利用して、一定以上の動きがある物に対して、統計的な判断をもとに動体を検知

### 行動検知

- 基本動作認識
  - ・ 複雑な行動を構成する要素となる約100種類の基本動作を予め定義
  - ・ 映像データから人物を検出した場合に、AI技術により、基本動作を認識
- 行動推定
  - ・ 発生場所、順番、組合せが、予め定義された行動検知ルールに該当する場合、不審行動として検知

### スタック危険度予測

- 気象データなどをもとに車両の雪道でのスタック危険度の予測結果を提供し、外部ソフトウェアでヒートマップなどの形式で可視化可能

### 移動配備シミュレーション

- 蓄積された過去のデータに対して緊急車両などの移動配備シミュレーションを可視化可能

### 人物検知

- 検知した人物の特徴（服装、年齢、性別、持ち物等）を検知
- 検知した人物の全身や顔に対して特徴量（※）を抽出、複数カメラに跨った人物同定も可能  
（※）対象物の特徴・特性を数値化した情報

### 車両検知

- 検知した車両に対して車種（バス、トラック、セダン、バン等）・車色を検知
- 検知した車両に対して車名（各メーカーが考案した独自の名称）および年式を検知
- 車種・車名だけでなく、車番を認識

### 管理機能

- 外部ソフトウェアからAPI経由でリクエストを受け付けて、本ソフトウェアの動作制御および監視制御が可能
- 検知処理結果や、動作制御・監視制御の処理結果を外部ソフトウェアに通知

APIを活用した個別SIが可能であることに加え、行動検知結果を可視化する標準の外部ソフトウェア「高度監視ソフトウェア FutureAct」も提供

## 監視システム連携例



※本AIの出力結果にかかる正確性を保証するものではありません。

## 富士通株式会社

お問合せ先：富士通コンタクトライン 0120-933-200

受付時間 9:00～12:00および13:00～17:30（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

<https://www.fujitsu.com/jp/products/network/managed-services-network/platform/multi-ai-videoengine/>

2025年4月 第8版